



事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
市税徴収事業	総務部	納税課	管理班・納税班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
滞納処分(参加差押含む)件数	件	1,093	1,488	1,093	1,295	1,093	
現年課税分徴収率(国保税除く)	%	98.00	98.47	98.00	98.32	98.47	
滞納繰越分徴収率(国保税除く)	%	22.50	24.64	22.50	26.63	24.64	

評価	平成30年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	第三次実施計画後半より、「現年課税分の徴収を強化し、新たな滞納繰越を減らし、結果的に滞納繰越分の圧縮を図る」ということを方針として行った。 その結果、市税・国保税ともに現年課税分の徴収率は向上し、滞納繰越額も前年度より縮減することができた。市税においては収入額も増加しており、財政状況に寄与することができた。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	財政状況が厳しい中、確実な歳入の確保は継続して求められている。 納税課としては、現状の的確な把握に努めながら、徴収率の向上を目指し、引き続き「現年課税分の徴収強化と、滞納繰越分の圧縮」を方針としていく。 市税の納付環境の整備等を行い、自主納付・納期内納付の促進を図るとともに、納付の見込みがない者に対する、財産の調査、差押の実施等、滞納処分も継続して行っていく。
	令和元年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	市税等収入の確保と徴収率の向上に向け、自主納付の推進及び滞納整理の強化に努めた。 現年課税分と滞納繰越分を合わせた全体の徴収率は前年度より1.43ポイントの増となり、滞納繰越額を圧縮することができた。また、市税の収入額も前年度より約1億368万円の増収となり、財源の確保に寄与することができた。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	市の歳入の根幹となる市税等収入の確保及び税負担の公平性確保の観点から、富里市市税等徴収対策基本方針に基づき、厳正に徴収対策を実施する。 また、引き続き、市税の納付環境の整備等に努め、自主納付・納期内納付の促進を図るとともに、納付の意思が確認できない者に対して、財産の調査、差押の実施等、滞納処分を厳正に行っていく。
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	